



リーフかさめい

笠縫学区人口（9月30日現在）
男性/5,459人 女性/5,761人
世帯数/4,912世帯

発行：笠縫学区まちづくり協議会
連絡先：笠縫まちづくりセンター

TEL・FAX：077-562-0071
Eメール：kasanui@machikyou.jp

website：http://www.machikyou.jp/kasanui/



まち協HP



公式LINE

みんなが主役 いきいきつながるまち 笠縫

11月5日（日）「笠縫学区ふれあい広場2023」開催！
（詳細はパンフレット、ホームページ・公式LINEをご覧ください）



地域コミュニティを支える高齢者



地域コミュニティは、私たちの生活において特別な存在です。私たちの身近にあり、実質的な家族のように支え合える存在です。その中で長い間経験を積んできた高齢者たちの役割は重要です。高齢者は地域の歴史や伝統を伝え、豊かな経験と知識を共有してくれます。私たちの過去から学び、未来を見つめる助けになります。

一方、地域コミュニティは、若い世代にとっても大きな成果をもたらします。高齢者の経験からの教訓やアドバイスは、若者の成長と学びの機会になります。共に活動し、交流を深めることで、世代間のつながりが強化され、共感と協力の意識が育まれます。そして、支え合いの場でもあります。誰かの困難を助け合い、幸せな時には喜びを共有することが、地域全体の結束を高め、より強く、安心できる場所となります。

老人の日（週間）に、私たちが地域コミュニティの大切さを考え、高齢者たちへの訪問や手紙、地域イベントへの招待などを行うことは、地域コミュニティの形成につながります。

地域の皆さんが共に寄り添い、未来に繋がる日（週間）になったことに感謝いたします。

※9月15日の「老人の日」を含む1週間が「老人週間」（改正された老人福祉法）でした。私たちの地域コミュニティと高齢者について考えてみましょう。



下笠町井之元町内会で開催された敬老会の様子



9月
17日（日）

グラウンドゴルフ大会を開催

主催：文化・健康・スポーツ部会 場所：笠縫小学校運動場

天候に恵まれた青空のもと、58名が参加して日頃の練習の成果を発揮しました。参加者は70歳から89歳までがほとんどでしたが、今回、17歳のお孫さんと参加された方もありました。競技中は、「惜しい～!」「ナイス!」「弱かった・強かった」など様々な言葉が飛び交う中、19名のホールインワン達成者もあり、和気あいあいとした雰囲気です。「楽しかった!」との声が聞かれた大会となりました。



第1回 ツナガリ発表会 **Let's 笠縫!** **Motto 笠縫!**

主催：笠縫ツナガリ隊
場所：笠縫まちづくりセンター

9月
2日(土)



この発表会は「普段練習や稽古をしているけれどなかなか発表する場がない」「誰かに聞いてほしい」など、学区の皆さんが自由に使える発表の場として初めて企画しました。

第1回は4組の出演がありました。『よし笛』『弾き語り』『日本民謡』『子どもたちの英語曲の合唱』と、バラエティに富んだ演目となり、大いに盛り上がりました！出演者の皆さんありがとうございました。発表会は、出演者・観客の双方から「楽しかった！」「次回も楽しみにしています」の声をたくさんいただき、ツナガリ隊としても企画してよかったと大変喜んでます。

第2回も多くの皆さんに楽しんでもらえるような企画を提供したいと考えています。



笠縫ツナガリ隊

えだまめ収穫体験

9月
2日(土)

主催：笠縫ツナガリ隊
場所：笠っ子アドベンチャーパーク(KAP)



今年は暑さ対策として、夕方からの収穫です。突然の開催案内にもかかわらず、多くの方に参加いただきました。畑のたくさんの枝豆から、実がパンパンに詰まったさやを選ぶのは宝探的な要素が満載！それでも皆さん上手に美味しいさやを収穫していました。そして、採れたての枝豆をその場で茹でての試食は大人気。すぐになくなってしまふほどの大盛況でした。

第3・4 講座 主催/場所：笠縫まちづくりセンター

笠縫やすらぎ学級を開催



8月10日(木) **第3 講座**
エコな食事メニューを考えよう!
～ STOP 温暖化!
食事のできることは? ～

滋賀県地球温暖化防止活動推進員の山本悦子さんを講師に迎え、食からの温暖化対策を学習し、食とおして私たちに出来ることは何か等について、具体例をあげながら分かり易く、お話いただきました。

参加者の声

「買すぎない」「作りすぎない」「食べ残ししない」三つのロスは、即実践したい。



9月14日(木) **第4 講座**
楽しく学ぼう!交通安全マナー

草津警察署交通課の井畑さん、県警交通企画課の奥村さんと山本さんを講師に迎え、交通事故にあわないため、講話や寸劇をとおして、楽しく学習しました。

横断歩道を渡る前は必ず左右の安全を確認し、夜の外出時は明るい服を着て、反射材を身に付ける事が重要だそうです。最後にみんなで、「自分の身は自分で守る!」と声を合わせて約束しました。

この講座は、高齢者に交通安全マナーを学んでもらおうと、センターとまち協地域安全部会との共催で開催しました。



防災研修会

8月26日(土)

主催：地域安全部会
場所：笠縫まちづくりセンター

災害時の備え、みんなで考えてみませんか

NPO法人しがいち防災研究所の皆さんを講師に迎え、50名の参加で開催しました。

災害時の備えをテーマとした講話の後、防災体験訓練として、命を守るためのロープの結び方や心肺蘇生法、毛布を使った応急担架の作り方などを体験しました。講師からは、「知恵を使って非常時に備える。サバイバル体験を生かし、繰り返し訓練をすることで、地域の防災力を高めて欲しい」との言葉がありました。



笠縫 彩 発見

まちかどフォト

いつも見慣れているつもりの比叡山ですが、こんな幻想的な日の入りに出くわすことがあるそうです。

グラデーションの雲、葉山川に映る比叡山、夕日。闇が訪れるまでのマジックアワーです。(下笠松陽台、清水純一様撮影)



比叡山の夕日

地域トピック



移動販売車が地域コミュニティの場に

大型ショッピングセンターではなんでも揃うが、その往復が体力的にも大変とか、ネットショッピングは便利そうだけど、スマホやパソコン操作のハードルが高い。ネット詐欺も怖い...などなど、高齢化社会の課題となっています。

自転車の荷台に豆腐や野菜など積んで売りに来た時代もありました。今そのような移動販売が復活しています。日々必要な食品や日用品などちょっとしたものですが、大変好評です。そして、移動販売車を待つ間は、地域住民どうし、話に花が咲きます。買い物に不便を感じる高齢者世帯へのお役立ち、ネット注文にはないふれあい・交流が感じられる広場になっています。(写真は、上笠の笠縫団地に立ち寄った移動販売車です)



“かるた”でカタル



その十二



思い出深いおふくろの味です。他にも、竹で編んだ籠を琵琶湖の河口に沈めうなぎを捕ったことなどは、自然とのつながりを感じさせてくれる思ひ草です。

笠縫を流れていた旧草津川の周辺には、池や沼が散在し鮒や鯉などが捕れました。特に、今は野村運動公園として埋め立てられた、野村池にはたくさん魚がいました。毎年2月ごろに池の水を抜き、鮒や鯉のみならず、川エビやシャコなどを捕りました。これらの魚介類は家々で調理され、



ふるさと笠縫かるた販売中!

問 まちづくりセンター

笠縫紀行 第十四回 自由人 横井金谷

よこい きんこ

宝暦11年(1761年)下笠村で生まれ、天保3年(1832年)72歳で亡くなるまで、波乱にとんだ放浪の生涯を歩んだ。今でいえば自由人である。21歳で、金谷を名乗る由来にもなる京都北野金谷山極楽寺の住職を務め、それ以降、江戸から長崎、山伏修行から放蕩生活と、かなりの自由人であったようです。

金谷の気ままさを伝えるのは、50歳のころの自伝「金谷上人御一代記」である。俳画風の絵とともに当時の庶民生活が描かれており、近代ユーモア文学に数えられる。

また画風は「近江蕪村」とも称され山水画、仏画、彫刻、焼き物絵付けなどを残し、その作品は、地元の収集家が保管しているものも多い。晩年は、大津坂本常楽寺の一庵で絵筆を走らせ、やはり気ままな生活を送った。墓は横井家の菩提寺である下笠宗栄寺に建立されている。

参考文献：くさつこぼればな史(草津市教育委員会発行)



横井金谷の墓標

笠縫みまもり隊のみなさんに インタビュー

笠縫小学校 / 9月12日(火)

通学路にいつも立たれている笠縫みまもり隊の方々に、3年生の児童が、感謝の意味を込めてインタビューしました。

当日は、隊を代表して6名の方が教室で児童の質問に答えました。児童からは、「なぜ見守りをやろうと思ったのですか?」「何を考えながら立っているのですか?」「やめたいと思ったことはないですか?」など、日ごろの素朴な疑問がぶつけられ、隊の皆さんも自分の気持ちを改めて整理するかのようによく、わかりやすく、回答されていました。

かれこれ18年も継続されている方は、「過去、自分がお世話になったので今は少しでも自分が役立ちたい」と述べられ、このような感謝の気持ちの連鎖が笠縫、ひいては世界を変えていくと、気づかされる場面もありました。最後に児童からは、お礼の言葉とあいさつを欠かさないことを約束していました。



スクール ESD 「答えのない問いへの挑戦」

松原中学校 / 9月15日(金)



3年生が6月の修学旅行のフィールドワークで見聞きしたこと感じたことをもとに、クラス毎に課題設定、設定理由、仮説、解決手段、自分ができる事の提言を行いました。

訪問した熊野古道を題材に、環境破壊、高齢化と後継者不足、資源の活用など生徒たちの観点で議論した内容が体育館のスクリーンに投影され、プレゼンが行われました。どれもが、日本や世界が抱える課題を縮小したようなテーマで、ネットやチャット GPT で引っ張ってきたような答えではなく、まさに「答えのない問い」に真剣に取り組んだように感じられました。

支援者として、大学教授、教育長、スクールコーディネーター、他お世話になっている方々からのコメントを聞き、新たな気づきも加え、継続した取り組みに挑戦されていくようです。

まちづくりセンターの 自主教室紹介

洋画 サンキストサークル
を訪問しました。

Q. 現在は何名ですか?

13名+指導員1名で活動しています。
60～80歳代の方が多いです。

Q. どのような活動でしょう?

月2回の活動で、静物画、屋外、モデルさんを水彩や油絵で描いたり、幅広く活動しています。仕上げまでの時間を確保するため、午前・午後を通して行うこともあります。

※メンバーは随時受け付けているそうです。
まず見学からいかがでしょう。
お問い合わせは、まちづくりセンターまで



第2回 担い手研修会

9月16日(土)

主催：地域福祉部会
共催：地域医療と福祉を考える会議
場所：笠縫まちづくりセンター

町内会長、福祉委員、民生・児童委員約60名が集い、担い手研修を行いました。

グループに分かれ、各自地域で福祉活動に取り組んできたことを色分けした付箋紙に記入、模造紙に貼って「見える化」して意見交換しました。「散歩で出会った方への声掛け」「町内会でのつながりを大切にしたい」など、地域活動の良さを再認識する機会となりました。



すこやか セミナー

9月16日(土)

主催：子ども育成部会
場所：笠縫まちづくりセンター

親子で学ぼう!お金のはなし



ファイナンシャルプランナーで、子ども向けマネー教育の専門家であるキャサリン(竹内かおりさん)とナンシー(西岡奈美さん)を講師に迎え、学校では教えてくれない身近で大切なお金について学

びました。

前半は、珍しい2千円札を実際に見せてもらいながらお金の歴史を学び、続いて、お金にまつわるクイズでは、どの子どもはりきって手をあげて発表していました。

後半の子どもと大人に分かれてのワークショップでは、子どもたちは、コンビニで800円のおこづかいをどう使うか考えました。使い方にも子どもたちそれぞれの個性が出ました。大人は、おこづかいはいつから?いくらあげる?など大人同士普段聞けないお金のことについて意見交換をしました。

子どもからは「クイズやワークが楽しかった!」大人からは「子どもとお金について考える良いきっかけになった」などの声がありました。



笠縫わんぱくっ子

8月9日(水)
バス研修

主催：子ども育成部会

ITAMI OSAKA INTERNATIONAL



小学生41名と伊丹空港の見学と日清カップヌードルミュージアムにチキンラーメン作りの体験に行きました。午前中は伊丹空港で空港内の見学と展望テラスで離着陸する飛行機を間近で見ることが出来ました。午後は日清カップヌードルミュージアムに移動し、今回のバス研修のメインイベント、チキンラーメン作りです。

2人1組で小麦粉をこね、のばし、蒸したあとに味付けをして、チキンラーメンができるまでの一連の工程を楽しみながら体験しました。自分たちが作ったチキンラーメンをお土産にもらって、みんな笑顔のバス研修となりました!



笠縫学区人権推進協議会 講座 主催：笠縫学区人権推進協議会 場所：笠縫まちづくりセンター

8月19日(土) 第3講座

特定非営利活動法人ヒューマン・ライツ・アドバンス・堺の西岡功祐さんを講師に迎え、「普通って何やろう?多様な個性を大切に!」のテーマで84名の参加で開催しました。講演は、「私たちが日常よく使う言葉、『普通』『当たり前』の境界線は、人それぞれで、何が普通で何が普通でないのかは曖昧である」から始まりました。

26歳の時にオーストラリアで2年間過ごす中で、誰かが言っているからではなく、自分の気持ちや個性を大切にすることを学び、今の自分があると話されました。

普段、何気なく発する「普通」という言葉について、改めて考える機会となりました。



西岡功祐さん



9月30日(土) 第4講座

例年、各町内会において開催される町内学習懇談会を前に、「充実した町内学習懇談会のために」と題して、人権センターの白井さんより参加者81名を対象に各町内会での進め方を説明いただきました。

続いて、市発行の「めざめ」や「DVD」「啓発講師団」などの題材や進め方のポイントの説明があり、続いて、充実した町内学習懇談会となるよう各町内会と市行政協力者との打合せを行いました。



9月14日(木)

防災対策委員会を開催

場所：笠縫まちづくりセンター



12月2日(土)に被害状況報告訓練を実施します!

今年度、第2回目の防災対策委員会を開催しました。7月26日(水)の第1回目に今年度の正副委員長の選出と今年度の活動の方向性を話し合い、今回の2回目では、具体的に活動内容を決めました。まず、今年度の防災対策本部・人員体制を整え、もしもの場合に備えました。

また、各町内会の一次集合場所や町内避難所の再確認をすることと、毎年実施している「被害状況報告訓練」を12月2日(土)に実施することを決定しました。

各町内会とまち協、まち協と草津市との連携・報告訓練です。皆様のご協力をお願いします。

参加者募集!

認知症を予防しよう! ～楽しく体を動かして元気に予防しましょう!～

主催 / 地域福祉部会

日時 / 11月17日(金) 10:30 ~ 11:30

場所 / 笠縫まちづくりセンター 大会議室

【講師】遠藤雄之さん

(淡海ふれあい病院リハビリテーション科
作業療法士 認知症ケア専門士)

- 参加対象：笠縫学区内にお住いの方
- 参加定員：30名
- 参加費：無料
- 申込期限：11月9日(木)
- 持ち物：飲み物・タオル



チャレンジスポーツデー ～スポーツの秋だよ!大人も子どもも全員集合!～

主催 / 文化・健康・スポーツ部会

日時 / 11月23日(木・祝) 9:30 ~ 14:30

場所 / 笠縫小学校体育館

- 予定種目：スローイングビンゴ・ポッチャ・室内ペタンク・ディスコン・カローリング他
- 参加対象：どなたでも参加できます
- 参加費：無料
- 持ち物：上靴・水筒・タオル
- 事前の申込は不要です
(当日笠縫小学校体育館に直接お越しください)



アロマ香るクリスマスの花かごづくり ～クリスマスのお花とアロマの香りに癒されませんか～

主催 / 笠縫まちづくりセンター

日時 / 12月7日(木) 10:00 ~ 12:00

場所 / 笠縫まちづくりセンター 大会議室

【講師】/ 香り師：重藤有里さん

- 参加対象：草津市内在住・在勤の0~2歳のお子さんを子育て中のママ
- 参加定員：12組(定員を超える場合は抽選とし、結果を通知します)
- 内容：①プリザーブドフラワーや木の实を使ってクリスマスの花かごを作りお好きなアロマを垂らします
②保健師による子育て相談
③ママ同士の情報交換 & 交流
- 参加費：1,000円
- 申込：QRコードより
- 申込期限：11月22日(水)
- 持ち物：持ち帰り用の袋
- その他：託児あり
(事前にお申込みください)



人権講座 ～学校文化と男女共同参画～

主催 / 笠縫まちづくりセンター

共催 / 笠縫小学校PTA

日時 / 11月25日(土) 10:00 ~ 11:30

場所 / 笠縫まちづくりセンター 大会議室

【講師】矢倉晴子さん(元松原中学校教頭)

- 参加対象：どなたでも参加できます
- 参加費：無料
- 事前の申込は不要です
(当日笠縫まちづくりセンターに直接お越しください)



参加申込・お問合せ

笠縫学区まちづくり協議会事務局
(笠縫まちづくりセンター内)
電話 / 077-562-0071

※【おことわり】まちづくり協議会は、開催される事業の様子を撮影し、広報紙(リーフかさぬい)・ホームページ・LINE等に掲載する場合がありますので予めご了承ください。



←参加申込はこちら

編集後記

11月は別名「霜月(しもつき)」と呼ばれ、文字通り寒さを感じる季節となりました。

小学校のプラタナスの大きな葉が色付くと、秋を感じさせてくれます。

味覚の秋で蓄えすぎてしまう体を動かしながら、秋を見つけに出かけてみようと思います。(Y.K)